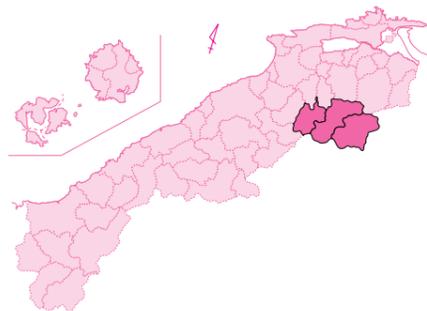


見どころ多彩な「たたら」の宝庫

仁多町・横田町・吉田村



可部屋集成館



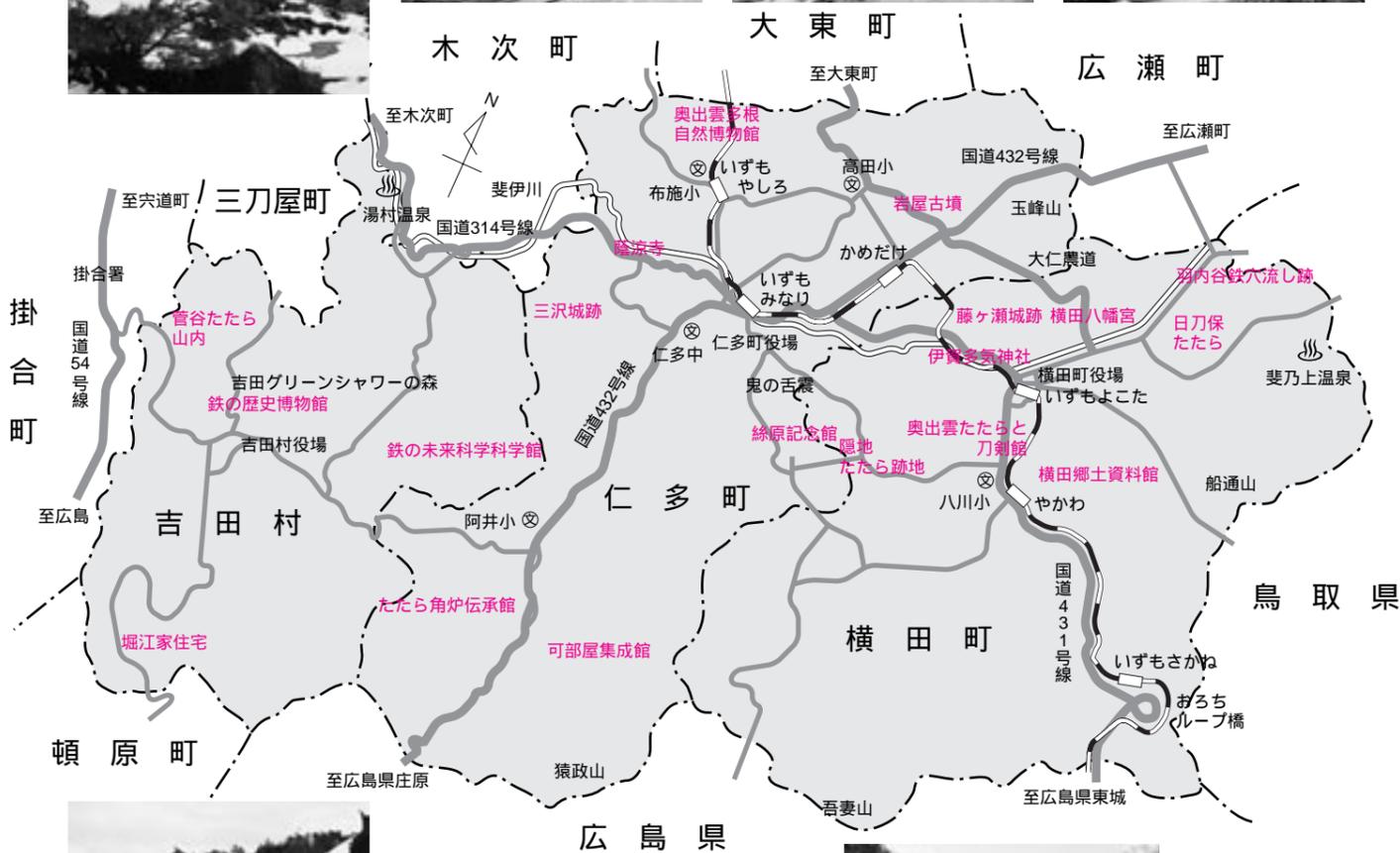
菅谷たたら山内



絲原記念館



堀江家住宅



横田郷土資料館



鉄の歴史博物館



たたら角炉伝承館



岩屋古墳



奥出雲たたらと刀剣館

奥出雲における中世の雄 三沢城跡



仁多町三沢
＜指定＞県・史跡
1305年に三沢氏によって造られた山城。標高は低いが周辺を一望でき、川などで天然の要害をなしている。城内には井戸や空堀、石垣が残っており、登山道や周辺の整備もされ散策コースになっている。
＜交通＞ J R 三成駅から車10分、車下車後徒歩20分

三沢氏の菩提寺 蔭涼寺



仁多町三沢
＜指定＞県・書跡
三沢城跡の山麓にある寺院。16世紀に三沢氏が安芸に移ったとき一時衰えたが、関峰により再興された。寺内に白隠禅師の筆という紙本墨書辺微意知語一巻があり、県指定文化財となっている。
＜交通＞ J R 三成駅から車10分
＜連絡先＞ 0854-54-0314

雲南随一の精美な古墳 岩屋古墳



仁多町高田
大仁農道から見える山の山腹にある、直径15mほどの円墳。中に長さ7mばかりの横穴式石室がある。奥の部屋(玄室)は、壁や天井を一枚の大形の石を組み合わせ造られており、当時の技術の高さをうかがうことができる。雲南地方随一の美しい石室で、ぜひ見ておきたい古墳だ。この近辺は、のちの風土記時代には郡の役所なども置かれた仁多郡の中心地で、常楽寺古墳、古代寺院跡の高田廃寺、古代の役所跡と関係するカネツキ免遺跡など、多くの遺跡がある。
＜交通＞ J R 亀高駅から車5分
＜いにしえ＞ 3巻P31

仁多町出土の資料も見られる 奥出雲多根自然博物館



仁多町佐白
多数の化石・鉱物や地球46億年の歴史や生物の進化をわかりやすく解説したパネルが展示してある。仁多町出土の資料も公開されている。9時30分から5時。月曜休館。一般700円、高大生500円、小中生350円。
＜交通＞ J R 三成駅から車10分
＜連絡先＞ 0854-54-0003

たたら師桜井家 可部屋集成館



仁多町上阿井内谷
たたら製鉄業を営んだ桜井家が所蔵する4,500点を公開している。古文書や松平不昧公直筆の掛軸、たたら関係の資料は一品。奥深い山間の谷あいであり、周囲の景観は素晴らしく、とくに紅葉期は美しい。また茶室、庭園も見えておきたい。9時から4時30分。月曜および冬季(12月上旬から3月中旬)休館。一般600円、学生350円、小中生250円。
＜交通＞ J R 三成駅から車20分
＜連絡先＞ 0854-56-0800

新しいたたら、角炉を知る たたら角炉伝承館



仁多町上阿井
明治時代に西洋から伝わった近代製鉄に対抗するために開発された角炉を修復復元し、角炉による製鉄の技術などを公開している。角炉は桜井家が経営していた横原たたらに残されていたもので、赤レンガが産産興業の時代を思い起こさせる。9時から5時。休館なし。入館無料。
＜交通＞ J R 三成駅から車20分
＜連絡先＞ 0854-56-0174
＜いにしえ＞ 1巻P35

木立にたたずむ記念館 絲原記念館



横田町町雨川
＜指定＞県・書跡
1980年にオ・ブンした記念館で、鉄山師で有名な絲原家のたたら資料や古文書、民俗資料、美術品が展示されている。絲原家の住宅の一部と庭園も別に公開している。絲原邸には自然の地形を利用した庭園などがあり、映画「絶唱」のロケ・シヨンに使われたことでも有名。9時から4時30分。年末年始休館。一般600円、高校350円、小中生250円。
＜交通＞ J R 三成駅から車10分。
＜連絡先＞ 1054-52-0151

出雲八所八幡の1つ 横田八幡宮



横田町横田角
＜指定＞県・古文書など
「馬場八幡宮」とも呼ばれ、仁多郡を代表する八幡宮。弥生時代の銅剣や鎌倉期の獅子頭をはじめ、多くの社宝を持つ。棟札には弘安4年(1281)の年号を持つものがあり、歴史を感じさせる。
＜交通＞ J R 出雲横田駅から徒歩15分。

眺めは最高 伊賀多気神社



横田町中村
＜指定＞県・彫刻
横田盆地北側の山麓にある横田町の古社。社殿は大社造りで、社宝の木造隨身立像(県指定)は見事。ヒノキの一木造りで鎌倉時代後期の作と言われている。
＜交通＞ J R 出雲横田駅から徒歩15分。
＜連絡先＞ 0854-52-0346

たたら高殿たたら地下構造を復元 奥出雲たたらと 刀剣館



横田町横田
近世のたたら製鉄をはじめ、鍛冶の歴史や、現在も操業をしている日刀保たたらについての資料も展示。圧巻は高殿たたら地下構造の実大復元模型。たたらと言えば、日本刀の材料である玉鋼が浮かぶが、日本刀を鍛える過程も紹介しており、毎月、第2日曜と第4土曜は、刀匠の実演も見学できる。9時から4時。月曜休館。一般500円、小中生250円(ただし刀匠の実演日は、一般1200円、小中生600円)
＜交通＞ J R 出雲横田駅から車5分。
＜連絡先＞ 0854-52-2770
＜いにしえ＞ 1巻P35

民俗資料が豊富 横田郷土資料館



横田町下横田
明治時代中期の農家と江戸時代末期の米蔵を移築し、内部に農具、生活用具、横田町出土の考古資料を展示公開している。9時から5時。月曜、年末年始休館。一般200円、学生150円、小中生100円。
＜交通＞ J R 八川駅から車5分。
＜連絡先＞ 0854-52-1112

かんな鉄穴流しの工程がわかる 羽内谷鉄穴流し跡



横田町竹崎
鉄穴流しとは、砂鉄を含む山土を水で流して比重の重い鉄を取り出す、近世・近代製鉄における原料採取の方法。この鉄穴流しの最終工程を行った跡が、復元整備されている。自然の山と川を利用した当時の砂鉄採取に思いをはせよう。
＜交通＞ J R 出雲横田駅から車15分。

たたら歴史を展示 鉄の歴史博物館



吉田村民舎
吉田村はたたら製鉄のメッカ。その中心部に建てられた、たたら歴史を保存、公開する博物館。内部にはたたら製鉄の道具や技法、生活用品などが、別館には日本彫刻界の巨匠・内藤伸の関係資料がある。たたら復元操業の記録映画「和銅風土記」も常時上演されている。9時から5時。月曜休館。一般500円、小中生250円。
＜交通＞ J R 木次駅からバス50分
吉田下車、徒歩3分
＜連絡先＞ 0854-74-0043
＜いにしえ＞ 1巻P35

江戸時代にタイムスリップ 菅谷たたら山内



吉田村民舎
＜指定＞国・重要有形民俗文化財
日本で唯一、高殿たたら建築が残っている例。高殿は製鉄を作る炉を中心とした建物のこと。天井が高く、壁は土で造られている、かなり大規模な建物で、炉の地下には湿気抜きのための地下構造(床釣りが眠っている。発掘された高殿たたらと合わせて見るとよくわかる。周囲にはたたら製鉄に従事した人びとの家や役所が残っており、彼らの暮らしを紹介する山内生活伝承館もある。たたらを知るには必見の場所だ。伝承館は9時から5時。月曜休館。一般300円、小中生200円。
＜交通＞ J R 木次駅からバス50分
吉田下車、徒歩30分
＜連絡先＞ 0854-74-0350
＜いにしえ＞ 1巻P34

静かにたたずむ 堀江家住宅



吉田村民舎
＜指定＞国重文
山間に静かにたたずむ民家。茅葺きでとても大きく、江戸時代中ごろにあたる18世紀ごろの建築と伝えられる。中国地方山間部の民家建築の典型例として、国の重要文化財に指定されている。静かな谷あいにもマッチし、懐かしさを抱かせてくれる。
＜交通＞ J R 木次駅から車90分
＜いにしえ＞ 4巻P29

横田町と広島県境にあるおろちループ橋のかかる谷には、「平家谷」という地名が残っている。伝承によると、壇ノ浦の合戦で敗れた平氏の落人がこの地に隠れ住んだといわれる。

